



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.98 (137)

2023. 6. 5

- 発行
公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 原口拓人
- 事務局 〒890-0063
鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL 099 (203) 0860
FAX 099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員2487名 (5/1 現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



亀ヶ丘 (南さつま市)

目次

公式LINEアカウントのお知らせ 2

第37回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ 第1報 ... 3

お知らせ 4

2023年度 鹿児島県理学療法士協会主催 研修会案内 ... 5

写真コンテスト結果発表 8

鹿児島マラソン2023のボランティア経験での所感 ... 11

介護予防シンポジウム 研修会報告 12

新卒者オリエンテーション開催の報告 13

研修報告 専門部より 14

奄美地区 研修会報告 15

始良地区 研修会報告 16

私と私の職場 17

私のおすすめ 18

先輩認定理学療法士よりアドバイス 19

事務局だより・編集後記 20

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 公式LINEアカウントのお知らせ

広報部 福留史剛

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

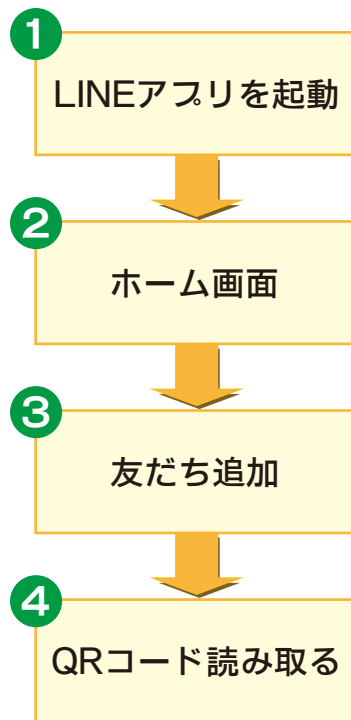
『鹿児島県理学療法士協会公式LINEアカウント』を開設し、県士会が主催する学術研修会やイベント、関連するニュースなどの情報をHP上での掲載に加えて、公式LINE上でも配信しております。

ぜひお友達登録をお願い致します。

※ LINEアプリを開き、ホーム画面 → 「友だち追加」 → 「QRコード」にて下記QRコードを読み取っていただくことで簡単に登録ができます。



《登録方法》



第37回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ 第1報

第37回 鹿児島県理学療法士学会
学 会 長 神 田 勝 利
準備委員長 宇 都 良 大

この度、第37回鹿児島県理学療法士学会長を拝命いたしました鹿児島第一医療リハビリ専門学校の神田勝利です。今年度の鹿児島県理学療法士学会は霧島市で開催いたします。世界的に猛威を振るったコロナ感染も日本でも5月8日より5類となり、コロナ禍での学会はリモートでの開催でしたが、本学会では現地開催とオンライン開催のハイブリッド開催を予定しています。本学会テーマは「理学療法教育（仮）」と考えております。今後、県士会ホームページや公式ライン等で定期的にご案内いたしますので確認のほどよろしくお願いたします。最後に対話やディスカッションを通じて学ぶ、久しぶりの対面学会となります。現地にて皆様にお会いできることを楽しみにしています。

- ・ テ ー マ 「理学療法教育について（仮）」
- ・ 会 期 2024年2月または3月を予定（決定次第、お伝えいたします）
- ・ 会 場 鹿児島県霧島市 会場未定
- ・ 一 般 演 題 30題（ポスター演題、口述演題）
- ・ 学 会 長 神 田 勝 利（鹿児島第一医療リハビリ専門学校）
- ・ 準備委員長 宇 都 良 大（霧島市立医師会医療センター）
- ・ お問い合わせ先 E-mail : the37th.kirishima.jimukyoku@gmail.com



お知らせ

理学療法かごしま 論文募集のお知らせ

理学療法かごしま編集委員会
委員長 金谷 親好

現在、理学療法かごしまでは第2巻の発行に向けて準備を進めており、原著論文や症例研究、短報を募集しています。投稿規定等につきましては協会ホームページにて公開していますので、ご確認ください。

第2巻は2023年8月末までに投稿された論文を掲載する予定です*。採択された論文はJ-STAGEにてオンラインで公開します。本誌は、認定理学療法士、専門理学療法士更新に必要な要件にも該当しています。たくさんの投稿をお待ちしております。何卒宜しくお願いいたします。

*査読の結果により、掲載が見送られたり、掲載が次巻になることがあります。ご理解よろしくをお願いいたします。

研究助成募集のお知らせ

鹿児島県理学療法士協会研究助成委員会

今年度より、鹿児島県理学療法士協会における理学療法学研究を発展させることを目的に研究助成を開始します。学術的あるいは臨床的な発展を望めるような研究を支援したいと考えております。概要は以下のとおりで、申請方法等につきましては協会ホームページにて公開していますので、ご確認ください。

たくさんの申請をお待ちしています。

研究助成概要

助成金	上限 10万円/件
予定採択件数	5件
申請書類の提出	令和5年6月26日(月) ～7月21日(金) (必着)
研究期間	令和5年4月～令和6年3月
採択結果の通知	令和5年8月頃



2023年度 鹿児島県理学療法士協会主催 研修会案内

【開催概要 ※参加申込予定の方は必ずお読み下さい】

平素より鹿児島県理学療法士協会学術部研修会活動へご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン研修会のみ実施していましたが、2023年度より対面形式の研修会に戻させていただきます。

しかしながら、士会会員の様々な事情を鑑みまして、以下の条件に該当する場合に限り、昨年度と同様にオンラインでの受講を許可させていただきます。

- * 鹿児島市外に在住の方
- * 育児・介護のため現地での参加が困難な方
- * 会員自身の身体的事情（怪我・病気等）により会場への移動が困難な方
- ※ オンラインでの参加の場合、参加確認のため、ビデオをオンにして参加していただきます。定期的に確認し、聴講が確認できなかった場合は欠席とし、ポイントを付与しません。

なお、本研修会は鹿児島県理学療法士協会会員を対象としておりますので、原則として県外会員の参加は認めておりません。ご理解の程よろしく申し上げます。

学術部研修会は現時点からURLもしくはQRコードから参加登録可能となっております。参加申込期限は研修会の2週間前としています。多くの方の参加をお待ちしております。

不明な点がございましたら、以下までご連絡下さい。

鹿児島県理学療法士協会学術部 部長 川 田 将 之

E-mail: kpta.gakujyutsu@gmail.com

Tel: 090-5663-8043

【オンデマンド配信】

今年度の学術部研修会は、研修会内容を録画し（Zoomミーティングを予定）、会員向けにオンデマンド配信いたします。

- * 研修会終了後3週間の期間限定で配信し、鹿児島県士会全員（参加者以外も含む）を対象とします。
- * 聴講は動画配信サービスを利用します。配信希望の方は、学術部（上記連絡先）へご連絡いただけましたら、聴講用パスワードをお知らせします。
- * オンデマンド配信のみではポイント付与対象とはいたしません（研修会への参加が必須）。
- * 事情によりオンデマンド配信できない場合もあります。ご理解よろしく申し上げます。

【研修会申込み】

第1回 運動器疾患における歩行障害の評価と治療 一般関節障害を中心に

日 時：7月23日（日）9:30～16:40

講 師：建 内 宏 重 先生（京都大学大学院）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室（予定）

参加費：500円

カリキュラムコード：運動器疾患の理学療法（区分7-88）

参加申込URL：<https://forms.gle/UEb2KzQPp6vm7JqZ9>



参加登録QRコード

第2回 臨床研究の進め方

日 時：8月20日（日）9:30～12:50

講 師：榊 間 春 利 先生（鹿児島大学）

牧 迫 飛雄馬 先生（鹿児島大学）

大 渡 昭 彦 先生（鹿児島大学）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室（予定）

参加費：500円

カリキュラムコード：研究法（区分3-48）

参加申込URL：<https://forms.gle/HGQri8FfUBMtxYMb8>



参加登録QRコード

第3回 前庭機能に着目したリハビリテーション介入

～末梢前庭障害、中枢神経疾患を中心に～

日 時：10月15日（日）9:30～12:40

講 師：塩 崎 智 之 先生（奈良県立医科大学）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室（予定）

参加費：500円

カリキュラムコード：頭痛・めまい（区分5-73）

参加申込URL：<https://forms.gle/K3SukQdWhZyP4S898>



参加登録QRコード

第4回 脳卒中に対する歩行トレーニング 基礎から実際

日 時：12月17日（日）9:30～16:40

講 師：大 畑 光 司 先生（北陸大学）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室（予定）

参加費：500円

カリキュラムコード：中枢神経疾患の理学療法（区分6-77）

参加申込URL：<https://forms.gle/nrkqDgwWphGLJu7o6>



参加登録QRコード

第5回 腰痛

日 時：1月28日（日）9:30～16:40

講 師：成 田 崇 矢 先生（桐蔭横浜大学）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室（予定）

参加費：500円

カリキュラムコード：疼痛に対する理学療法（区分7-96）

参加申込URL：<https://forms.gle/ysCpEUg9t6YXnSjg8>



参加登録QRコード

写真コンテスト結果発表！

福利厚生部 川上 剛

お待たせいたしました！

鹿児島県理学療法士協会福利厚生部2022年度写真コンテストの結果発表です。
数ある作品の中から、最優秀賞、優秀賞、佳作を発表します。

最優秀賞

受賞者：本村 楓

作品名：大切な人のために

エピソード：笑顔の絶えない理想的な夫婦。些細なことですぐに喧嘩をするがそれも仲の良い証。訪問リハビリを利用するのもいつまでも奥様の側で元気で過ごしたいから。リハビリがない日も自分で歩いたり自主訓練に励む日々。時には奥様の代わりに洗濯物を取り込もうと転倒することも、、、それもこれも全部大好きな奥様のために。そんなご主人を今後も全力でサポートしていきたい。



👑 優秀賞

受賞者：寺 師 はるか

作品名：1年で1歩～100歩で辿り着いた場所～

エピソード：訪問リハビリを利用しながら、住み慣れた自宅で過ごす100歳の利用者様。ご自分の足で、「日本一の巨樹 蒲生の大クス」を目指し、歩行車を押しながら歩きます。大正・昭和・平成・令和と、大クスのように地にどっしりと根を張って力強く生きて来られた利用者様が、歩きながら笑顔で話して下さる昔話を、1日でも長く聞かせて頂けるよう、リハビリを通して手助けしていきたいと思えます。



👑 優秀賞

受賞者：小 牧 隼 人

作品名：おてんば娘、おすまし中です。

エピソード：99歳のお祝いに、デイケアの皆さんから寄せ書きをいただきました。歳の数を目標に、最近はじめた卓球も104回まで続けられました。これからも、できることを1日1日積み重ねていきたいと思えます。



👑 佳作

受賞者：松元 亮太

作品名：いつまでも成長

エピソード：100歳と10ヶ月。毎週木曜日はリハビリの日。いつも元気に歩行練習している。趣味は数独。難易度は最難関レベルを解いている。私はこの患者様から「人は何歳になっても成長できる」といつも教わっている。



👑 佳作

受賞者：高木 梨乃

作品名：千里の道も1COGY (コギー) から

エピソード：晴れの日も雨の日も、雪の日も毎日リハビリ。今では足漕ぎ車椅子 (COGY) で気切と左片麻痺の私でも散歩できます。笑顔は積み重ねた努力の結晶です。



写真コンテストは2023年度も開催いたします。
会員の皆様からたくさんのご応募お待ちしております！

鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部
川上 剛
(医療法人春風会 田上記念病院)
TEL: 099-282-0051
E-mail: reha_kawakami@shunpukai.com

鹿児島マラソン2023のボランティア経験での所感

社会医療法人 天陽会

酒匂雄基 柿並貴道

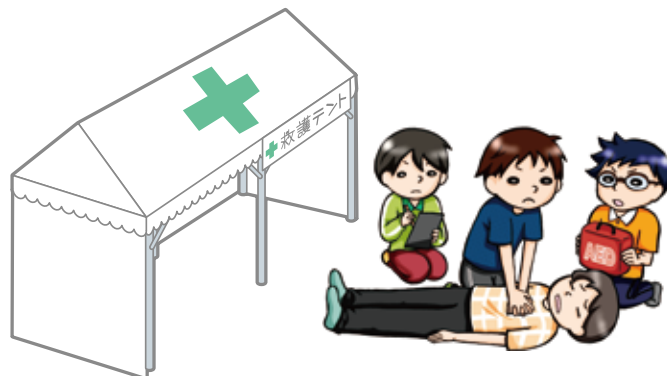
小磯良太 廣盛瑛智

令和5年3月5日に鹿児島マラソン2023が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、今大会は3年ぶりの開催ということで記念すべき大会となりました。これまで私自身は、こういったイベントへの関わりはあまりないなかでも、興味を持っていました。今回のボランティア参加のきっかけとなったのは、今年の1月に鹿児島県理学療法士協会から鹿児島マラソン2023のボランティアスタッフ募集をしているお知らせをいただいたことから、良い機会であると考え、同職場のスタッフと一緒に参加しました。

ボランティアスタッフは救護所、定置AED隊、モバイルAED隊のグループがあり、私はモバイルAED隊に割り当てられました。モバイルAED隊は、私以外にも医師や看護師、救急救命士といった他職種で構成されていました。活動内容は、割与えられたコースを自転車で巡回し、けがや体調不良などある参加者の対応を行いました。マラソン大会では、私が想定しているよりも脱水症状の参加者が多く、対応に戸惑う場面もありましたが、チームや周りのボランティアスタッフの協力もありスムーズに対応をすることができました。今回は実際にAEDは使用しなかったのですが、同チーム内に経験のあるスタッフも参加していたため心強さもありました。また、AEDの取り扱いなどは、職場でもBLS研修で学んでいたこともあり経験が活かされたと感じました。

今回の経験を通して、職場と一緒に多くの職種のスタッフと関わることも多かったため多職種協働の重要性を感じました。それに加え、普段臨床の場で心がけている患者さんの顔色や表情などといった視診をはじめとするフィジカルアセスメントは、このような場でも活用できることも私のなかでは新たな発見でした。

最後に、このような機会をいただきました、鹿児島マラソン2023関係者様、また鹿児島県理学療法士協会の方々へ感謝いたします。また、今後もこのような機会がありましたら、お力になればと考えており、理学療法士として鹿児島県に貢献していきたい思います。



介護予防シンポジウム 研修会報告

公益事業部担当理事 神 田 勝 利

公益事業部部長 岩 森 俊

公益事業部 上 川 毅 康

介護予防シンポジウム【追加企画】を3月9日19時より完全オンラインにて実施しました。前回開催のシンポジウムが大変好評であった為、追加企画とし開催致しました。

今回は自助を促す工夫というテーマで講師の先生方にはご依頼させていただきました。

いづろ今村病院の西洋樹先生より糖尿病疾患における自助を促す工夫というタイトルで、糖尿病の基本から、セルフケア行動と自己管理について、効果的な運動療法を実施する為に考え方と具体的な方法等をご講演いただきました。

天陽会中央クリニックの松下元樹先生には循環器疾患における自助を促す工夫というタイトルで、自助を促し運動療法を継続するための行動変容、動機付けの支援、データの可視化の重要性について実際の症例を通して講演いただきました。

天陽会桜島病院の中村弘樹先生には介護サービス資源の少ない地域で自助を促す工夫というタイトルで桜島地域での活動を講演頂きました。

鹿児島大学の太渡昭彦先生には「自助を促すための工夫」「運動を継続して行くためのヒント」というタイトルで、自助を促すための方法、今後私たち理学療法士が求められるスキルについて講演頂きました。

今後も会員の皆様の臨床に生かせる研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくお願ひ致します。

今回の介護予防シンポジウム参加者は74名（内他職種：8名）でした。



新卒者オリエンテーション開催の報告

生涯学習担当理事 白尾麻美
部長 横山尚宏

4月16日にハイブリッド形式にて新卒者オリエンテーションを開催しました。
会場58名、オンライン45名、合計103名の新人先生方に参加いただきました。

オリエンテーションは、会長のあいさつにはじまり、施設・病院等で働き始めるうえで大切な「理学療法と倫理」これから理学療法士として働いていく上で職域の問題や診療報酬関係が必要となってくる「理学療法連盟政策」、スペシャルゲストとして田中まさし先生にもオンラインでご参加いただき、職域を守るための政治力を伝えていただきました。また日本理学療法士協会についての入会案内等について講義・説明を行いました。

新社会人としての自覚、知識・技術を身につけ早く患者様に信頼される理学療法士になりたいという熱い思いを感じることができました。1年目でもベテランの先生でも思いは1つです。「患者さんを元の生活に戻したい、そのためにも知識、技術をもっと身につけたい。」県士会は先生方の思いに応えるべくサポートしていきますので、一緒に成長しましょう。



また、新人教育プログラム研修会は前期研修「A」を5月、6月、7月、8月に開催いたします。（詳細は県士会ホームページでご確認ください）前期研修は最短2年間で取得できますので、日程調整のうえ、受講いただきますようお願いいたします。

後期研修「B」「C」を10月、11月、12月頃で開催を予定しています。（こちらにつきましても詳細は県士会ホームページに掲載予定です。）後期研修は最短3年間で取得できます。

新人教育プログラム研修会は、日本理学療法士協会全国共通の資料で講義を行っています。（eラーニングでも9月以降に受講可能です。参加が難しい方はぜひそちらを検討下さい。詳しくは日本理学療法士協会HPをご参照ください。）履修確認は、日本理学療法士協会マイページより、確認できます。

研修報告（専門部より）

専門領域研究部理事 大 渡 昭 彦
部長 松 田 史 代
部長 牛ノ濱 政 喜

「運動器系研修会」

担当：牛ノ濱 政 喜（ちゅうざん整形外科内科胃腸内科）

令和5年3月5日（日）今村総合病院スポーツ整形外科の白尾泰宏先生にお願い致しまして、「身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法（lower quarter編）」というテーマにて、研修会を開催いたしました。参加者は32名でした。今回は鹿児島大学医学部保健学科をホストとしてZOOMオンラインで行いました。まず前半は、急性期、回復期、慢性期での疼痛治療の考え方について座学を行っていただき、神経感作や疼痛コントロールのメカニズムを理解することの重要性をご説明いただきました。後半では、実際の症例報告を評価からクリニカルリーディングを行い、徒手的なアプローチの動画を分かりやすく解説して頂きました。特に膝関節屈曲制限のL4神経へのアプローチでの動画では非常に興味深く拝見させていただきました。また終了後の質問に対してもメールにて大腿四頭筋の効果的なアプローチ法の解説を参加者の方に丁寧に対応して頂きました。

今年度も2回の研修会を予定しております。皆様のご参加の程、よろしくお願い致します。

「スポーツ系研修会」

担当：牛ノ濱 政 喜（ちゅうざん整形外科内科胃腸内科）

令和5年2月12日（日）に今村総合病院スポーツ整形外科の轟原与織先生にお願い致しまして、「東京オリ・パラ用JPTAブラッシュアップ研修伝達～足関節テーピング編～」というテーマにて、研修会を開催いたしました。参加者は26名でした。今回は鹿児島大学医学部保健学科をホストとしてZOOMオンラインで行いました。研修会前より、用意するテーピングの種類や開催方法など、たくさんの会員の方から質問を頂きました。前半に足関節のスポーツ障害について座学講義、足関節テーピングの録画ビデオの解説を行い、後半では患者モデルを用いて、はじめての動画LIVE配信を行いました。動画配信では、カメラワークや音声等の不具合でご不便をおかけする部分もあったと思いますが、何とか最後まで問題なく開催できました。特にヒールロックとフィギュアエイトの連続した巻き方では、なかなか上手く出来ない方が多かったように感じました。

10月には「燃ゆる感動 かがしま国体・かがしま大会」が開催されます。事前の研修会を経て、たくさんの県内理学療法士の先生方がサポートメンバーとして活躍される予定です。

皆様のご協力の程、よろしくお願い致します。

奄美地区 研修会報告

奄美地区長 奄美市笠利国民健康保険診療所
當 田 直 哉

2022年度の第2回奄美地区研修会を令和5年2月18日にリモート開催という形で行わせて頂きました。

講師は、今村総合病院の吉田研吾先生(運動器認定理学療法士)に、『スポーツ障害の理学療法(肩関節)』というテーマでお話し頂きました。

参加者数は20名程でしたが、リモート開催という事で離島の奄美地区協会会員にとっては移動距離ハンディを解消できるという事もあり、例年より参加しやすい研修会となったのではないかと思います。

また、鹿児島地区からの参加者もあり、よい交流の場となることもできたのではないかと思います。

研修会の内容としては、肩関節の基本的な解剖運動学から、投球フォームの説明・評価、実際の治療、肩関節脱臼の理学療法へと幅広く講義して頂きました。ハイスピードカメラを使つての動画にて介入前と介入後の変化や、実際の症例紹介など大変有意義な3時間となりました。肩関節の理学療法という現場においての、難しさや責任の重さ、患者さんの人生や夢にも大きく関わるという事も考える事ができたのではないかと思います。

また、吉田先生はもともと喜界島の出身という事で、島の医療のことも触れて下さり、講義だけでなく、島への想いなども話して下さり、とても有意義な時間となりました。



まだまだコロナ禍という事で、対面での開催は出来ませんでした。私たちが会員の皆様へ何が提供できるか模索して、より良い研修会や症例検討会を提供できていけたらと思います。

昨年度より新生涯学習制度・登録理学療法士制度もスタートし、より理学療法士としての研鑽が求められるようになってきました。今年度も奄美地区協会運営にご理解ご協力いただけたらと思います。

始良地区 研修会報告

始良地区担当理事 弥 栄 博 文
始良地区長 増 山 泰 英

○第3回 始良地区症例検討会 参加者52名

日時：令和5年2月16日(木) 18:30~19:10 Web開催(ZOOM)

症例検討演題名：『COVID-19肺炎の症例 ～歩行動作の介助量軽減を目指して～』

発表者：青雲会病院 大川畑 翔平 先生 分野：E-3内部障害

座長：クオラリハビリテーション病院あいら 中山佳祐 先生

○第5回 始良地区研修会 参加者48名

日時：令和5年2月16日(木) 19:15~20:30 Web開催(ZOOM)

テーマ：『物理療法のエビデンスと治療展開』

講師：霧島杉安病院 福村 俊之 先生 認定理学療法士(物理療法)

講義概要

症例検討会では、COVID-19肺炎の症例についてCOVID-19病棟でのリハから、一般病棟への転倒後の連携などを中心に症例の状態変化について報告して頂きました。実際の感染対策や多職種との連携による離床の工夫点など、大変参考となる内容でした。

研修会では、エビデンスに対する学びを深めながら、物理療法のエビデンスから治療展開に至るまで幅広い内容で講義をして頂きました。また、参加者の施設の物理療法の設置状況や使用方法などをアンケート結果から知ることができ大変貴重な機会となりました。

令和4年度は合計8回の研修会と症例検討会を開催し、始良地区の会員の皆様をはじめ多くの方に参加していただき、まことにありがとうございました。今年度も、よりよい始良地区活動が実施できるように取り組んでいきますので、引き続きよろしくごお願い致します。



令和4年度第5回始良地区研修会

物理療法のエビデンス と治療展開

霧島杉安病院 認定理学療法士(物理療法)
福村俊之

私と私の職場

社会医療法人三愛会 三愛クリニック
妹尾直貴

やわらかな初夏の日差しが心地よいこのごろ、鹿児島県理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今回は私が勤務する三愛クリニックを含め、当法人である社会医療法人三愛会の紹介をさせていただきます。

当法人は昭和55年鹿児島市郡元に三愛整形外科医院として開院し、以降クリニックや介護事業所等の関連施設の開設を経て、現在では三愛病院を中心とした社会医療法人三愛会と社会福祉法人三愛会を合わせた三愛会グループとして活動しております。「患者さん本位の医療と介護サービスの統合」という経営理念の元、急性期、回復期、在宅介護に至るまでの切れ目のない医療サービスの実現を目指し、職員一丸となって地域医療への貢献に取り組んでおります。

私達リハビリテーション職員が在籍する部署は入院、外来、訪問リハ、通所リハの4部門となり、PT63名、OT15名、ST4名が各業務に従事しております。

主な施設の紹介としては、三愛病院とリハビリホスピタル三愛の2つの入院施設では近隣の医療機関や三次救急医療機関からのリハビリ目的入院も多く、整形外科疾患はもとより脳血管疾患、内部障害、悪性腫瘍など幅広く患者様を受け入れております。早期在宅復帰や通院治療へ繋げるため、各職員が他職種と密に連携し入院治療が円滑に進むよう努めております。三愛クリニックでは整形外科疾患を中心に小児から高齢者までの通院リハを実施し、通院が困難となった方へは訪問リハを、生活支援が必要となった方へは通所リハも実施しております。それぞれの部署において患者様の障害だけではなく、ライフステージごとに生じる課題に目を向けた支援にも力を入れております。

私が当法人に入職した十数年前と比べますと、現在では診療科も増えリハビリを実施する患者様の疾患や状態も多岐にわたり、個人・組織においても幅広い知識と柔軟な対応を求められるようになったと感じます。十年もあれば社会は大きく変化したことを実感しますし、個人においてもライフステージが変わり価値観や職業観に変化が起こればと思います。そのような中においても、社会や地域での私達の役割をしっかりと認識し、持てる力を十二分に発揮して日々を過ごしていきたいと思っております。

青葉生い茂る初夏のみぎり、会員の皆様のさらなるご活躍をお祈りいたしております。



私のおすすめ

神村学園専修学校
吉野慶子

理学療法士は人体を解剖して実際に内部を観察する機会は少ないため、解剖学書を元に基礎医学となる解剖学を学習しています。しかし、その知識を臨床にどう活かしてよいのか悩んでいる方もいるのではないのでしょうか？そこで、今回私がご紹介したい本は、医学書院の『運動療法その前に！運動器の臨床解剖アトラス』です。

解剖学の本はたくさんあると思いますが、解剖写真が多く掲載してあり、さらにセラピストが出版に携わっているものはなかなかないのではないかと思います。この本は、従来の解剖書のように単に各部位の解説というだけでなく、各部位で臨床においてよく見られる症状について、「解剖学的に」捉え方や治療の考え方を掲載してあります。解剖学的な知識を対象者にどう活用すればよいのかを示してあり、タイトル通りまさに「運動療法その前に！」再学習として手に取りたい内容となっています。また、解剖写真とあわせて、生体の超音波画像も掲載してあるためイメージしやすく、運動療法をどう考えればよいか有用に活用できるのではないかと思います。

理学療法士にとっての解剖学の大切さを再認識できる一冊であり、臨床力の向上にお役に立てたら幸いです。



<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/105618>

先輩認定理学療法士よりアドバイス

認定理学療法士 (循環器領域)

鹿児島大学病院 木佐貫 勲

【取得しようと思ったきっかけ・分野について】

循環器はとても幅広い領域であり、超急性期から慢性心不全などの慢性期治療までの理学療法が求められます。治療介入では、外科的な介入と内科的な介入のどちらもバランスよく行う必要があります。また、患者の生死に直結する常にリスクの高い分野でもあり、これは知らなかったではすまない場面も多々あります。疾患、治療の時間軸、治療方法、リスク管理についても全て幅広くあるので勉強しなければならないことは多いです。さらに近年、社会の高齢化に伴い、心不全が世界中で増加する心不全パンデミックと呼ばれる事態が進行しており、循環器理学療法の重要性もますます高くなってくると考えられます。その為、循環器の理学療法を新たな気持ちで学ぼうと決意し、その一歩として循環認定取得を目指しました。

【認定理学療法士を取得して】

循環器理学療法では、患者の生死に直結するような困難な状況に直面することもあります。認定を取得したという自信が、どのような場面でも慌てず、冷静な対応ができる事に繋がっています。理学療法士としての習熟は、自らの向上心と努力をもとに成り立ちますが、認定を取得して多くを学び、新たな情報も得ることで、壁に当たった時に、様々な角度から考えられる事が出来るようになり、多くの利点をもたらしてくれます。また認定を取得したことで、多くの学会や研修会などに参加し、他病院の先生方との繋がりもできて、有益な情報を得ることで、日々の臨床に活かすことが出来ています。

【今後の目標など】

ただ認定を取得しただけでなく、この経験を次に活かすことが、医療に関わる姿勢として大事だと思います。今後も日々の臨床の中で、真摯に患者に向き合うことで自分自身のレベルアップへ向かっていきたいと思っています。日本人の死因第2位は心疾患であり、年々循環器疾患で困っている患者が増えてきている状況で、循環器疾患に対して、一人一人で立ち向かうのは難しくなっています。困っている患者を助ける為、日々の臨床、研究など常に大切であり、それと併せて力を与えてくれる医師や療法士の仲間と協力しながら、この困難に立ち向かい、乗り越えて行く考えです。

事務局だより

令和5年2月21日～令和5年5月2日現在受理分

ニュース

愛知No. 208. 209 岐阜No. 144. 143 熊本No. 141
広島No. 272. 273 大阪No. 296. 297 滋賀No. 222
山梨No. 161 和歌山No. 98 神奈川No. 295 秋田No. 208

学術誌

第31回愛知県理学療法学会
高知県理学療法2022 No. 29
鹿児島県医師会報 第862号
理学療法ジャーナル Vol. 57 No. 4
秋田県理学療法士会創立50周年記念誌
理学療法ジャーナル Vol. 57 No. 5
理学療法京都 No. 52 2023
秋田理学療法 Vol. 30 N. 1 2023
NO Limit Vol. 93
鹿児島県リハビリテーション施設協議会会報 第19号

<会員動向> (5. 1定期承認まで)

入会11件 県内異動71件 転入9件 転出17件
休会278件 復会25件 退会35件
会員動向に関する詳細は非公開とします。
会員数 2487名
会員所属施設数 469施設

役員行動録

2月12日 JPTA組織強化事業 (東條)
2月22日 鹿屋市専門職派遣事業 (東條)
2月27日 県連盟役員会 (平名)
鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議 (弥栄)
2月28日 鹿児島市保健センター意見交換会 (平名・生駒・東條)
始良地区会議 (弥栄)
3月1日 鹿児島医療技術専門学校卒業生講話、学校保健活動関連打ち合わせ (平名・東條)

3月4日 訪問リハビリテーションステップアップ研修会 (弥栄)
3月5日 JPTA理事会傍聴 (生駒・弥栄)
3月6日 3役会 (平名・生駒・弥栄・東條)
3月7日 鹿児島医療福祉専門学校卒業生講話、県リハ施設協議会世話人会 (平名)
3月8日 理事会 (平名・生駒・弥栄・東條)
3月9日 鹿児島市スポーツ課訪問(東條)
介護予防シンポジウム (平名・東條)
令和4年度 鹿児島県介護実習・普及センター運営協議会 (弥栄)
3月10日 代議員総会 (平名・生駒・弥栄・東條)
3月13日 第一医療リハ専門学校卒業生講話 (平名)
3月14日 令和4年度 始良市介護予防・生活支援サービス従事者研修会 (弥栄)
3月20日 十島村機能訓練事業振り返り会議 (弥栄・東條)
3月22日 鹿児島県くらし保健福祉部 高齢者生き生き推進課地域包括ケア推進係訪問 (東條)
3月23日 POS推進リーダー養成研修会担当者会議 (生駒)
3月25日 九州ブロック士会長会議 (平名・生駒)
3月27日 県連盟会議 (平名)
鹿児島市地域リハ事業入札 (東條)
3月30日 城西中学校訪問 (平名・生駒・東條)
4月1日 組織検討委員会 (生駒・弥栄)
4月3日 POS推進リーダー養成研修会担当者会議 (生駒・東條)
4月5日 鹿児島マラソン大会振り返り会議 (平名・東條)
4月6日 霧島整形外科 訪問 (東條)
4月8日 JPTA理事会 (平名・生駒)
4月9日 JPTA組織運営協議会 (平名・生駒)
4月10日 3役会 (平名・生駒・弥栄・東條)
4月12日 理事会 (平名・生駒・弥栄・東條)
鹿児島県くらし保健福祉部 高齢者生き生き推進課地域包括ケア推進係訪問 (東條)
4月16日 新卒者オリエンテーション (平名)
4月21日 県高次脳機能研究会世話人会・研究会 (平名)
4月27日 県連盟3役会 (平名)
5月1日 鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議 (弥栄)

編集後記

皆さん、ゴールデンウィークはどのように過ごされたでしょうか。今年は新型コロナウイルス感染対策の規制も緩和され、旅行に行かれる方や帰省された方も多かったのではないのでしょうか。徐々に梅雨や猛暑となる季節に入ります。皆さん水分補給や睡眠など、健康管理に努めて頂けたらと思います。

広報誌に関してご意見等ございましたら、編集部まで連絡をお願い致します。

rihabiri@gyokusyukai.com

編集部 寺師 はるか